

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年6月27日

評価対象事業		評価者	学校施設課長	下澤 敦
教育-18	重点事業	小学校施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 学校施設課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	学校施設の整備

1 事業の目的

対象	市立小学校16校
意図	小学校施設の改修等により教育環境の改善を図るため
効果	児童の安全・安心な教育環境を整える

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二小学校外5校の冷暖房設備設置工事を行った。</li> <li>・七里ガ浜小学校外5校の冷暖房設備設置工事設計業務委託を行った。</li> <li>・関谷小学校のトイレ改修工事を行った。</li> <li>・富士塚小学校の受水槽等改修工事を行った。</li> <li>・深沢小学校の特別支援学級教室等改修工事を行った。</li> <li>・学校施設の老朽化状況調査業務委託を行った。</li> <li>・未改修の小学校トイレの改修業務委託を行った。</li> <li>・御成小学校旧講堂の改修工事設計業務委託を実施したが、一部未了のため、令和元年度に繰り越した。</li> <li>・御成小学校の児童数増に対応するため、仮設校舎を賃借した。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		データ区分	01年度(2019年度)当初予算		備考
	人	口	人	口		人	口	
人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人	176,308人	人口	176,436人		・各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
	事業の対象者数	7,940人	7,892人	7,892人	事業の対象者数	7,939人		
運営資源状況	決算値(千円)	513,947	767,108	767,108	当初予算(千円)	380,532		
	国県支出金	57,806	71,104	71,104	国県支出金			
	地方債	423,800	657,300	657,300	地方債	342,700		
	その他				その他	22,790		
	一般財源	32,341	38,704	38,704	一般財源	15,042		
	人員配置数	1.7	1.9	1.9	人員配置数	2.0		
事業経費運営	人件費(千円)	12,832	14,686	14,686	人件費(千円)	15,591		
	総事業費(千円)	526,779	781,794	781,794	総事業費(千円)	396,123		
	市民1人当りの経費(円)	2,985	4,434	4,434	市民1人当りの経費(円)	2,245		
	対象者1人当りの経費(円)	66,345	99,062	99,062	対象者1人当りの経費(円)	49,896		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 受益者負担導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか △-1. 協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	トイレ改修の加速化(3か年で未改修トイレを全て改修)及び御成小学校旧講堂改修工事の実施に向け、予算規模を拡大する必要がある。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>教育環境の改善を図るため、外壁、受水槽等の改修を進める。</p> <p>トイレの改修を加速化させ、3か年で10校18系統(小学校5校9系統、中学校5校9系統)のトイレを改修する。</p> <p>小学校普通教室への冷暖房設備設置を行う。</p> <p>鎌倉市立御成小学校旧講堂保存活用計画を踏まえた改修工事の実施に向けた検討を行う。</p> <p>学校施設老朽化状況調査結果等を基に、今後の学校施設のあり方の検討を進め、学校施設整備計画を策定する。</p>
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	普通教室への冷暖房設備設置に向けて、設置工事及び設計業務を計画どおり進める。御成小学校旧講堂保存活用計画を踏まえた改修工事設計を実施する。小中学校校舎の老朽化状況を把握するため、学校施設の老朽化状況調査を実施する。未改修の小学校トイレの改修を行う。富士塚小学校の受水槽等改修工事を行う。老朽化の進む学校施設及び設備については、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全と延命化に努める。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	第二小学校外5校で冷暖房設備設置工事を行い、七里ガ浜小外5校で冷暖房設備設置工事設計業務委託を実施した。御成小学校旧講堂の改修工事設計業務委託及び学校施設の老朽化状況調査業務委託を実施した。関谷小学校トイレ改修工事を行ったほか、未改修トイレ(5校9系統)について平成30年度(2018年度)から令和2年度(2020年度)までの3か年の事業としてトイレ環境改善業務委託を開始した。富士塚小学校の受水槽等改修工事を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	学校施設老朽化状況調査結果等を基に、今後の学校施設のあり方の検討を進め、学校施設整備計画を策定する。小学校16校の普通教室への冷暖房設備を設置する。鎌倉市立御成小学校旧講堂保存活用計画を踏まえた改修工事の実施に向けた検討を行う。トイレの改修を加速化させる「トイレ環境改善業務委託」により、3か年で10校18系統(小学校5校9系統、中学校5校9系統)のトイレを改修する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	普通教室冷暖房設備設置状況 ○:全小学校設置 △:一部小学校設置 ×:全小学校未設置								
団体名	鎌倉市	横浜市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市
他市実績	△	○	○	○	△	×	×	○	×
	R01完了予定				R01完了予定	R01完了予定	R01完了予定		R01完了予定

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣市では普通教室への冷暖房設備設置が順次進められており、全市で令和元年度(2019年度)中に完了する予定である。本市においても児童の健康で安全な学習環境を整備するため、計画的に事業を進めていく。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	普通教室への冷暖房設備設置						単位	校	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	令和元年度(2019年度)に全16校設置完了予定。			
計画通り令和元年度(2019年度)までに小学校全16校の普通教室に冷暖房設備を設置する	目標値	-	-	-	4	6	6				
	実績値	-	-	-	4	6					
	達成率	-	-	-	100.0%	100.0%					

指標の内容	トイレの改修						単位	系統	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	令和2年度(2020年度)までにすべての改修を完了する。令和2年度(2020年度)は4系統実施予定。平成30年度(2018年度)に、10系統の改修を計画し、1系統改修済み。			
5校9系統のトイレが未改修(平成30年度(2018年度)末時点)だが、令和2年度(2020年度)までに全て改修を行う	目標値	1	-	1	2	1	5				
	実績値	1	-	1	2	1					
	達成率	-	-	-	100.0%	100.0%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	普通教室への冷暖房設備設置については、計画どおり事業を進めている。トイレの改修については、従来の直接施工による方式より、設計から工事までを一括して委託する新たな手法を採用したため、事業の加速化が図られ、令和2年度(2020年度)までに3か年10校18系統を実施する計画としている。
-----------------------	--